

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ダイアキッズ (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 15日 ~		2025年 11月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45名	(回答者数) 45名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ~		2025年 11月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・長期休みに 就労に向けての職業体験を、地域の企業や就労事業所等で体験をさせて頂いていること。	・体験場所については、身近にある所にこちらから声を掛けたり、地域の方にお声掛けをして頂き 協力しあって準備しています。仕事をする事、決められた時間は集中して取り組む事を意識出来る様にしています。	・就労B型の事業所でも作業体験ができる様に今後も地域の事業所と交流を深めていきます。
2	・支援プログラムを作成して、5領域に合ったその日の活動目標を立てていること。	・季節に合った物、昔ながらの伝承遊び、制作、レクリエーション等飽きない様に組み合わせています。その中で個々に支援が必要な所を把握し、活動プログラムに反映しています。	・5領域全体のバランスやつながりを意識した支援を行い、苦手な事でもチャレンジしようという気持ちが持てる様に 様々な経験が出来る環境を整えていきます。
3	・ワークシステムを活用して、手先の器用さや集中力を養っていること。	・スタッフの手作りで特性に合った作業を提供しています。	・マンネリ化しない様に入れ替えたり、新しい物を取り入れていくよう配慮していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・男性スタッフが足りない為、同性介助が出来ないこと。	・募集はしていますが、男性スタッフがなかなか集まりません。	・男性スタッフ募集を、ブログ等でアピールしていきます。
2	・庭がないので、気分転換や気持ちの切り替えをするために外に出るということが難しいこと。	・屋外スペースがない環境に加え、安全管理や人員配置が必要となる為、気分転換や気持ちの切り替えのために即時的な屋外対応が難しいです。	・天気の良い日はなるべく外に出て、散歩や公園で遊んでいますが、その日の利用児の状況により、スタッフの配置を考えて 安心・安全に気を配っていきます。また、室内での代替的な気分転換方法を工夫するとともに、計画的な外出活動を見直していきます。
3	・言語聴覚士、理学療法士、作業療法士の専門的なスタッフがいないこと。	・人材確保や事業所の運営体制上 専門職配置が難しいというのが現状です。	・様々な研修を受講し、スタッフの資質向上を図っていきます。 ・支援センターの専門職（言語聴覚士、理学療法士、作業療法士）の方に訪問してもらい、アドバイスをいただき支援につなげていく様にします。